

様式第6号（会派用）

政務活動実施報告書

令和5年6月15日

村上市議会議長 様

会派名 新政村上

代表者氏名 長谷川 孝



当会は、下記のとおり政務活動を終了しましたので報告します。

	経理責任者氏名	佐藤重陽
用務名	①ウインド・パワー・ギャラリー「GATE」について ②道の駅「米沢」について ③伝国の杜（上杉博物館）について	
実施日時	①令和5年5月24日（水） 午後3時00分～午後4時00分 ②令和5年5月25日（木） 午後2時00分～午後3時00分 ③令和5年5月26日（金） 午前10時00分～午後0時00分	
用務先	①茨城県笠間市友部駅前 ②山形県米沢市大字川井 ③山形県米沢市丸の内	
参加議員名	長谷川孝、佐藤重陽	
全体参加者数	2名	
概要及び所見	※記載欄が不足する場合は別葉に記載すること。 別紙	
備考		



日時 令和5年5月24日(水)～26日(金)

視察先 茨城県笠間市友部駅前 ウインド・パワー・ギャラリー「GATE」
山形県米沢市大字川井 道の駅 米沢
山形県米沢市丸の内 伝国の杜(上杉博物館)

◎ ウインド・パワー・ギャラリー「GATE」

茨城県笠間市友部駅に昨年春竣工したウインド・パワー・ギャラリー「GATE」は、10年程前にお世話になった洋上風力発電を手掛ける茨城県神栖市のウインド・パワー・グループの小松崎社長夫妻が友部駅周辺を都市中心拠点とする笠間市の都市機能の配置、集約と質の高い基盤施設整備に向けた市有地払い下げに応募して完成した建物です。

あくまでも建物・土地とも法人資産となりますが、市の入札条件としてJR友部駅北口をスーパーやコンビニによる利便性ではなく、文化や芸術を発信できる場所と位置づけられたことからアトリウム・美術館を設置(不定期開設)、地域の文化施設として地域貢献に努めるとしている。

本市においても旧村上病院跡地の活用策が大きな課題となっている。

市民グループの中には美術館や多目的ホールの要望なども聞こえてくる。

市の要望に沿ったウインド・パワー・グループのような民間活力による手法も取り入れながら、リスクの少ない駅前周辺整備に取り組んでもらいたい。

◎ 道の駅 米沢

道の駅 米沢は、オール米沢(置賜)を体感・創造・発信する道の駅として、山形県のゲートウェイ機能、交通結節点機能(国道13号線、東北中央自動車道)、産業・地域振興機能(地元特産品、産直、地域の食PR)を基本コンセプトとして平成30年4月20日に開業しました。

福島～米沢の東北中央自動車道が開通し、米沢中央インターチェンジを降りたすぐのところにある道の駅米沢は立地にも恵まれてはいますが館内施設は決して大きくはないにもかかわらず福島県を中心に多くの利用客であふれていました。

建物本体(フードコート、農産産直、特産品販売、コンビニ 1,836㎡で令和5年度来館者数250万人、売上高14億円が見込まれるとのこと)です。

本市の道の駅朝日のリニューアルオープンに向けても大いに期待されるところでありますが、私は3つの未来創造事業 ①洋上風力発電事業 ②駅前周辺整備事業 ③道の駅朝日リニューアル整備事業の1つとして位置づけられる本市の重要な事業であることから、市民全員の応援体制を築いてほしいものと願っております。

◎ 伝国の杜

上杉博物館は、上杉鷹山公の藩の財政の立て直しを中心に歴史に忠実に藩政改革を伝承しています。

関川村の渡辺家からも米沢藩では借金を用立てています。

米沢藩の「上杉鷹山の藩政改革と金主たち」加藤国雄著では、渡辺家から2番目に多い延10万両の借金をしたと記述されています。

また、江戸時代において米沢藩とは地元岩船の発展において大きな意味があります。

それは、米沢藩が北前船の物流拠点として桃崎浜においていました。

しかし、海老江が幕府領となると港の停泊料で塩谷・桃崎浜・海老江で争いが頻繁におきたため、米沢藩より物流拠点を岩船に移したとのこと。

後発であった岩船の北前船の物流拠点としての繁栄は著しいものとなったのです。

6月23日には有志議員による北前船の現地視察を行います。

海老江、塩谷、岩船、瀬波、早川、府屋を巡り、日本遺産登録に向けた北前船文化を市の施策に生かせないか研究してきます。